

大会名称: **東日本大震災復興支援
第11回全日本社会人バスケットボール選手権大会**

開催場所: **鳴門・大塚スポーツパークアミノバリューホール Bコート**

試合区分: **No. 30 女子 決勝**

期 日: **2015(H27)年11月1日(日)**

主審: **星野 由貴**

開始時間: **14:40**

副審: **池松 和久 : 堀江 友希**

秋田銀行		○	25 — 23 13 — 13 21 — 17 19 — 22 — — —					●	鶴屋百貨店						
(実3・東北)		78						75	(実1・九州)						
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		成田 麻沙美	4	0	1	2	2	5		内田 結日	—	—	—	—	—
5	*	矢上 若菜	15	1	6	0	2	6	*	田中 愛巳	15	3	2	2	4
6		鈴木 友佳子	0	0	0	0	0	7		松岡 和泉	0	0	0	0	0
7	*	小松 恵	9	0	4	1	3	8		後藤 夏実	—	—	—	—	—
8		阿部 優美香	0	0	0	0	0	9	*	落合 千里	29	3	6	8	2
9		橋田 幸華	—	—	—	—	—	10	*	瀬井 香織	2	0	1	0	5
10		永野 友香里	0	0	0	0	1	11		上野 綾菜	8	2	1	0	1
11	*	加藤 茉奈美	4	0	0	4	1	12	*	米村 知紗	3	1	0	0	3
12		加藤 三津子	—	—	—	—	—	13	*	野尻 絢那	12	0	6	0	2
13	*	伊藤 美和子	36	1	12	9	4	14		村木 花奈	0	0	0	0	0
14	*	星 希望	10	0	5	0	2	15		濱本 愛梨	4	0	2	0	5
								16		藁田 小百合	2	0	1	0	1
/ TEAM								/ TEAM							
合計			78	2	28	16	15	合計			75	9	19	10	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

1P、両チームともマンツーマンでスタート。秋田は、#13の伊藤の1対1を軸に得点を重ねる。一方鶴屋は、#9落合のスピードのあるドライブインからのアシスト、ジャンプシュートで対抗。1Pは激しいディフェンスながらも両チームともスリーポイントがよく決まり、得点の奪い合いとなり、23-25で終了。2P、鶴屋はよりプレッシャーをかけるマンツーマン、一方、秋田は、マンツーマンとゾーンディフェンスを状況により使い分け、2Pは互いに決めてがないうまま、36-38で前半終了。3P、秋田のゾーンディフェンスが機能し、点差が広がるものの、鶴屋の#9落合のドライブインやスリーポイントで追いつき接戦の展開となる。終了間際に、秋田#13伊藤のポストプレー、#5鈴木のドライブインで53-59で終了。4P、鶴屋はオールコートプレスで積極的に仕掛け、秋田のターンオーバーを誘発し、残り5分で逆転。秋田はたまたまタイムアウト、これで、落ち着きを取り戻し、再度逆転に成功し点差を広げる。鶴屋は#9落合の連続スリーポイントで3点差に詰め寄る。秋田リードの残り3秒で放った鶴屋のスリーポイントは、リングに嫌われ、秋田の優勝。最後まで勝敗の行方が分からない白熱したゲームであった。

担当者: 角瀬 英樹(徳島県バスケットボール協会)

公益財団法人日本バスケットボール協会

